

2026年4月1日
NTTアノードエナジー株式会社

「香川観音寺蓄電所」および「福岡門司蓄電所」の商用運転を開始

NTTアノードエナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岸本 照之、以下、NTTアノードエナジー）は、「香川観音寺蓄電所（香川県観音寺市大野原町大野原）」および「福岡門司蓄電所（福岡県北九州市門司区）」を建設し、2026年3月から商用運転を開始しました。

概要

カーボンニュートラル実現という社会課題に取り組むためには、再生可能エネルギーの普及拡大と有効活用が必要不可欠であり、同時に電力需給の安定化も重要な課題となっています。再生可能エネルギーの発電量は気象条件に依存して変動するため、電力系統の周波数や電圧を一定に保つための調整力が求められます。これまでは主に火力発電所がこの役割を果たしてきましたが、脱炭素化を加速するために、今後は調整力としての蓄電池設置の拡大が見込まれています。

NTTアノードエナジーは、香川観音寺および福岡門司蓄電所の商用運転を2026年3月に開始しました。この2カ所の商用運転の開始により、NTTアノードエナジーが自社で開発・運用する蓄電所は全国で10システムとなり、今後、アグリゲーターとして各種電力市場（卸電力市場、需給調整市場、容量市場）での最適取引や充放電制御、蓄電所の一元的な保守監視を行っていきます。

NTTアノードエナジーは、今後も蓄電所の開発、保守・運用を通じて、再生可能エネルギーの更なる普及拡大と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

「香川観音寺蓄電所」について

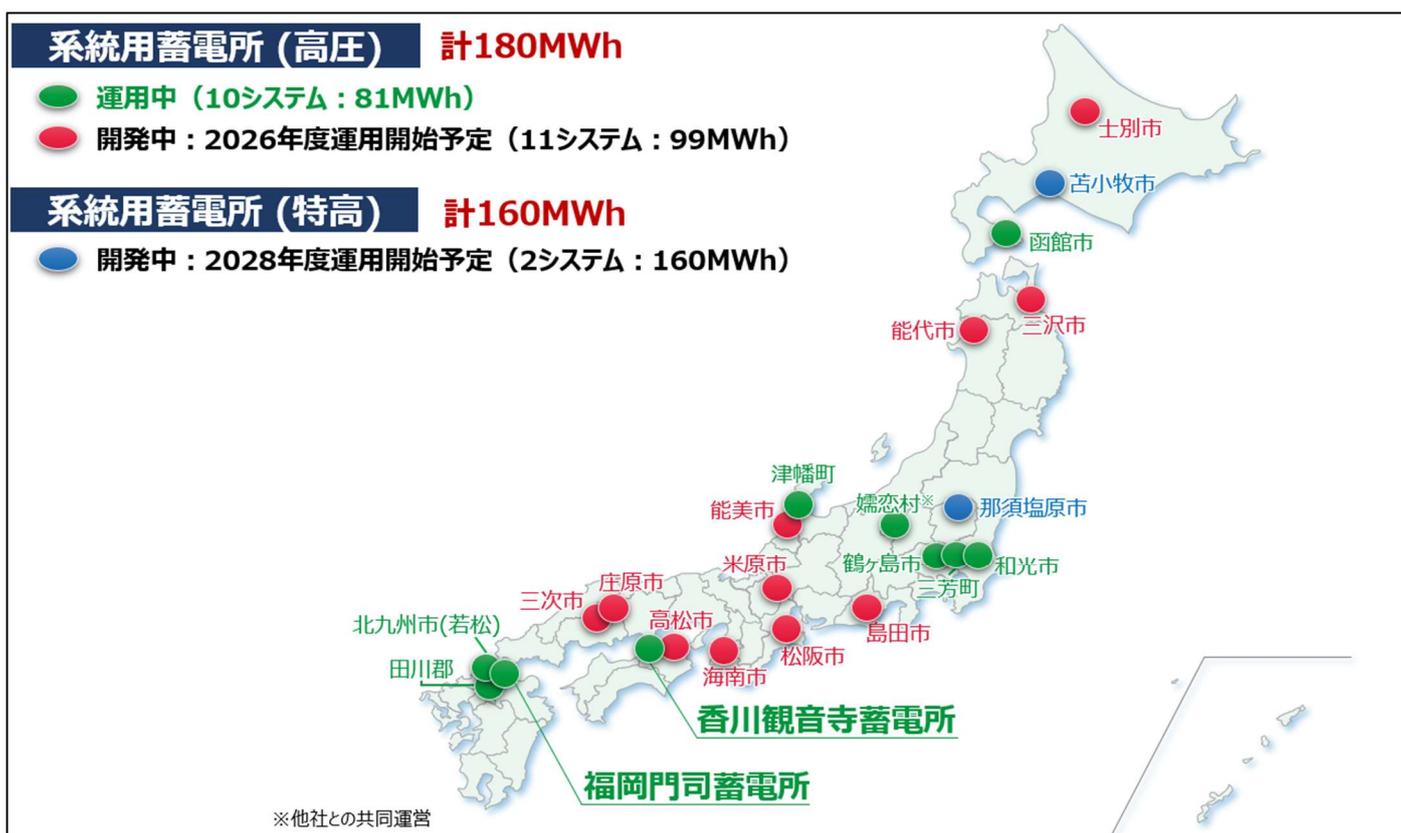


名称	: 香川観音寺蓄電所
設置場所	: 香川県観音寺市大野原町大野原
電池種類	: リチウムイオン電池
PCS 出力	: 1,999kW
公称容量	: 8,226kWh (一般家庭約 720 世帯分の 1 日の電力使用量に相当)
運転開始	: 2026 年 3 月
事業者	: NTT アノードエナジー株式会社

「福岡門司蓄電所」について



名称 : 福岡門司蓄電所
 設置場所 : 福岡県北九州市門司区
 電池種類 : リチウムイオン電池
 PCS 出力 : 1,999kW
 公称容量 : 9,992kWh (一般家庭約 870 世帯分の 1 日の電力使用量に相当)
 運転開始 : 2026 年 3 月
 事業者 : NTT アノードエナジー株式会社



NTT アノードエナジー蓄電所の構築状況 (2028 年度までに 23 システムを運用開始予定)

●本リリースは、NTT グループが展開する GX ソリューションブランド「NTT G×Inno (エヌティティ ジーノ)」[※]の取り組みの 1 つです。



URL: <https://group.ntt.jp/group/nttgxinno/>

※「NTT G×Inno」は、NTT 株式会社の登録商標です。

「NTT GX (Green Transformation) × Innovation」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation(変革)をおこし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです。

以上